

【子どもたちの 優しい言葉 素敵な発見 豊かな発想】

(校長室で賞状を渡した3年生の子が笑顔で)
「初めて(賞状を)もらったー! 嬉しい!」
(次の日、特選でもらったパンケースを持って)
「見て、見て! 使ってるよ」(素敵です!)

「まるで花が咲いたみたい!」

(雪の朝、中庭の梅の木に雪が積もっていました)



卒業式へ向けて、一人一鉢のピオウの花が咲き始めています。学校目標『花とみどりと笑顔の学校』のように花が咲くと嬉しいです。卒業式は花いっぱいです。

英語の授業で5年生は「ノートルダムの鐘」、6年生は「ET」を英語バージョンで鑑賞しました。もちろん字幕はなし。30分程一緒に観ましたが、見ごたえ十分。物語に浸っている姿がとてもよかったです。



6年生を送る会のリハーサルをしている5年生の姿です。こういう姿が大好きです。自分たちで計画を立て、準備をし、本番を迎える。初めてのことがいっぱい、苦労の連続ですが、それを乗り越えて実施した経験と喜びが力になっていきます。6年生を送る会は大成功でした。終了後、5年生、6年生の担任が5年生の子どもたちにかかる言葉が温かい。このような学習を通して、一歩ずつ成長

していく子どもの姿が本当にいいなあと思います。

6年生が児童会活動で使ってきた様々な物を倉庫から一旦出して片付けていました。1年間、本当にたくさんの活動をしてきたんだなあと思いました。これら一つ一つが学校生活を潤いのあるものにしてきてくれたと感じます。それにしても、すごい量で児童会活動の充実を感じました。

